



JPI催しのご案内

2014
7

公益社団法人日本包装技術協会

開催要領

会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

日時 平成26年7月24日(木) [第1部]13:15~15:00 [第2部]15:15~17:00

参加費 JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,240円(1部会、税込)

第1部 第203回生活者包装研究会

13:15~15:00

【テーマ】人間工学によるパッケージ開発とその事例

人間工学はヒトを科学的にとらえ、実験的手法を用いて様々な工業製品の使いやすさ、つまりユーザビリティを評価します。人間は寸法、力、使い方、経験、さらには情動や感性などの考慮すべき要因が多く、製品の発想や設計において納得できるストーリーを組みにくいものです。よく知られたユニバーサルデザインも言葉として魅力的ですが、その概念は日本では誤解されており具体的な方法論としては利用しにくいものです。

このような現状に対して、人間工学はヒトの生理学的、認知心理学的、形態学的特性を開発・評価プロセスに組み込むことを方法の主眼としています。そのためデザインに必要とされる要件を客観的に導くことや、データに基づいた評価をすることが可能となります。本講演では科学的根拠に基づいてユーザの立場になる、つまり相手を思いやることを念頭に置きながら、人間工学的な方法論やいくつかの事例紹介を行います。

【講師】国立大学法人千葉大学 大学院工学研究科・准教授

下村 義弘氏

【コーディネーター】(株)旭紙工 業務部 マネージャー 包装専士

浦川 英三氏

サントリービジネスエキスパート(株) SCM本部 包材開発部 専任課長

宮井 清氏

第2部 第204回生活者包装研究会

15:15~17:00

【テーマ】2014 Interpack 視察報告

インターパック併催 SAVE FOOD 会議、展示内容、市場視察を、それに続く世界軟包装会議(6月、米国)の内容も参照しながら、世界の最新包装事情の一端として報告する。(お断り:視察内容によって内容が変わることがあります)

1. フードロス削減と包装の役割
 - ・組織的な活動
 - ・最新包装技術
 - ・店舗でのメッセージ
2. 世界の包装業界は今どこに向かおうとしているか
 - ・近未来に向けて成長のキーワード
 - ・相互にM&Aが進む米国と欧州の包装企業
 - ・新興市場の台頭
 - ・日本の包装企業の位置付け
3. 包装技術から見たトピックス
 - ・急成長の軟包装と従来型包装形態(金属・ガラス容器、ボトル、紙器)との葛藤
 - ・植物由来包装材料
 - ・アクティブ・インテリジェントパッケージ
 - ・包装ラインシステム技術
4. 小売業店舗における変化
 - ・フードロス削減対策
 - ・シェルフレディ・パッケージ
 - ・パッケージ表示
 - ・消費者との双方向対話

【講師】(株)パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長

有田 俊雄氏

【コーディネーター】DIC(株) 埼玉工場 塗工技術本部 PM技術1G GM 包装専士

松原 弘明氏

味の素(株) グループ調達センター 専任課長 包装専士

田屋 昌亮氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

7月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒)	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部

7月度の見学会はございません。

第52回全日本包装技術研究大会【札幌大会】

～発表者募集のご案内～

(公社)日本包装技術協会では毎年1回、全国の会員を対象に包装技術の研鑽と交流を目的とした全日本包装技術研究大会を開催し関係各位より高い評価を頂いております。本大会は本年で52回目を迎え、会場を札幌コンベンションセンターに移し、盛大に開催する予定です。貴社におかれましてもこの機会を有効にご利用頂きたく、奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

☆☆☆☆☆ 発表者募集要領 ☆☆☆☆☆

- 【開催日】平成26年11月20日(木)～21日(金)
- 【発表内容】1件あたり25分間(20分発表、5分質疑)
- 【募集件数】54件 *定員になり次第締め切り
- 【申込期間】平成26年8月29日(金)まで
- 【発表料金】無料 *記念品を贈呈します
- 【優秀選定】発表者の中から、特に充実した発表をされた方を対象に優秀発表者を選定します

☆☆☆☆☆ 発表内容 ☆☆☆☆☆

包装又は包装資材に関する研究/新技術・新システム・新素材の紹介/廃棄・リサイクルの容易性/包装の現場における改善・合理化の事例/省力・省資源・コスト低減の事例など

☆☆☆☆☆ 発表部会 ☆☆☆☆☆

- ①包装資材部会 ②包装ラインシステム化部会 ③食品包装部会 ④生活者包装部会
- ⑤医薬品包装部会 ⑥化粧品包装部会 ⑦輸送包装部会 ⑧電気機器包装部会
- ⑨環境包装部会 ⑩パッケージデザイン部会

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 全日本包装技術研究大会 担当:小橋 TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970 e-mail:kobashi@jpi.or.jp

TOKYO PACK 2014

TOKYO INTERNATIONAL PACKAGING EXHIBITION 2014

2014東京国際包装展

ここで見つかる、包装のチカラ

7月中旬頃より、公式Webサイト(<http://www.tokyo-pack.jp>)にて、来場事前登録受付&出展者情報公開 開始予定！併催イベントなど続々と企画中！“TOKYO PACK ならでは”の企画にご期待ください！

- ① 医薬品包装パピリオン
- ② 世界の包装ジャーナリストによるトレンドセミナー
- ③ 出展者による最新包装技術セミナー
- ④ Global Packaging Pavilion 2014
- ⑤ 2014日本パッケージングフォーラム
- ⑥ スペシャルゲストセミナー

- 名称 TOKYO PACK 2014 - 2014東京国際包装展 -
- 会期 2014年10月7日(火)～10日(金)の4日間 10:00～17:00(来場登録受付9:30開始)
- 会場 東京ビッグサイト(東京国際展示場)東ホール全館
- 主催 公益社団法人日本包装技術協会(JPI)
- 同時開催 食品開発展2014 8～10日 西ホール ※相互入場可能

◆お問い合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 2014東京国際包装展事務局 TEL:03-3543-1189 e-mail:t-pack@jpi.or.jp

第18回化粧品包装セミナー

開催要領

- ◆日時:平成26年7月18日(金) 13:00～16:50
- ◆主催:公益社団法人日本包装技術協会
- ◆参加費:会員140,40円・会員三名同時申し込み11,880円
- ◆会場:スペースF S 汐留
- ◆定員:120名
- ◆一般19,440円(消費税・テキスト代含む)

プログラム

13:00～14:10	スキンケア容器(細口・広口) 及びポンプ設計の留意点	(株)キワ グローバルテクノロジーセンター 主席研究員 井上 隆 氏
14:20～15:30	CADを活用した人間工学的視点の容器	ライオン(株) 包装・容器技術研究所 副主席研究員 中川 敦仁 氏
15:40～16:50	最近のアゾール事情・ アゾールのメカニズム(仮)	(株)ダイゾー 研究開発部 本部長 大和田亮一 氏

専用パンフレットにてお申し込み下さい。HP(<http://www.jpi.or.jp>)からご確認頂けます。

◆お申込及びお問合せ先◆ (公社)日本包装技術協会 〒104-0045東京都中央区築地4-1-1-10F 担当:竹内 TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取扱いについて】

- 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させて頂きます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
- 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

◆お問い合せ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当:佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>